15　接続詞を使い分ける［語／構成］

　接続詞は、主に、文と文をつなぐときに使われる言葉です。例えば、「おなかがすいた。だから、ごはんにしよう。」の「だから」のようなものです。前の文と後の文の関係を明示します。それぞれの役割に合った接続詞を使い分けましょう。

　多くの場合、接続詞はなくても意味が通じます。右の例を「おなかがすいた。ごはんにしよう。」としても問題はありません。ところが、次の場合、（　　）に「だから」も「しかし」も入れることができます。

　このお菓子は甘い。（　　）、食べたい。

「だから」を入れるのは、甘いものが好きな場合、「しかし」のほうは甘いものが苦手な場合です。つまり、接続詞によって、書き手の認識がわかるのです。

　接続詞は使いすぎるとくどくなることもあります。誤解のしようがないところは省き、論理的に述べたいところでは使うという考え方がいいでしょう。

接続詞の主なタイプ

①原因や理由による結果を表す（順接）

　だから・それで・すると・したがって

②対立や反対の概念を表す（逆接）

　しかし・けれども・ところが・だが

③付け加えを表す（添加・補足）

　そして・それから・また・しかも・その上・さらに・なお・なぜなら・ただし・ちなみに

④言い換えを表す（同列）

　つまり・すなわち・要するに・いわば

⑤対比的であることを表す（対比・選択）

　または・あるいは・それとも・一方

⑥話題を変える（転換）

　さて・ところで・では

接続助詞との対比の例

　暑かったので、上着を脱いだ。

　　→暑かった。だから、上着を脱いだ。

　記録は悪かったが、優勝した。

　　→記録は悪かった。しかし、優勝した。

　外出したのだが、天気はよかった。

　　→×外出した。しかし、天気はよかった。

注意　接続助詞「が」でつながれている場合の多くは「逆接」だが、「単なる接続」と言って、「逆接」ではない場合もある。

レッスン１　次の空欄に入る最も適当な接続詞を、後の選択肢から選んで書き入れなさい。

⑴　試合には勝ちたかった。［　　　　　］、私は勝つ自信がなかった。

⑵　部活の練習には毎日必ず参加しています。［　　　　　］、少しでも上達したいからです。

⑶　私は母の望みどおり教師になった。［　　　　　］、母が私に託していた夢をかなえたのである。

⑷　彼はとても親切な人です。［　　　　　］、多くの人に好かれるのだと思います。

⑸　私はパーティーに遅刻してしまった。［　　　　　］、プレゼントを持っていくのも忘れたのだった。

　それで　　だが　　たとえば　　つまり　　しかも　　なぜなら

レッスン２　次の各文を、例にならって、二つの文に分け、適当な言葉でつないで書き換えなさい。

　　　　　　　　　　　　きた。しかし、

　例　雨がはげしくなってきたけれど、野球の試合は続けられた。

⑴　この店の料理は安くておいしいと評判になっているので、いつも大勢の客でいっぱいだ。

⑵　集合時間を過ぎてもう三十分もたつのに、彼がやってくる気配はまったくない。

⑶　東日本では真夏日を記録しましたが、西日本では最高気温は25度にも達しませんでした。

⑷　商品の送料は無料ですが、お申し込みの先着百名様に限ります。

⑸　ルールは相手の言ったセリフを即座に逆にして言うというもので、相手が「おもしろい」と言えば「いろしもお」と言うのです。

レッスン３　次の文章の⑴～⑹の（　　）の中からあてはまる語を選んで○で囲みなさい。

　りんごと言えば赤い色を連想する。⑴（そして・しかし・しかも）、これは日本でのことであって、決して万国共通ではない。⑵（例えば・だが・さらに）、フランスでは緑色だという。子供の絵本や教科書などでも、りんごはほとんど緑色に描かれているらしい。

　⑶（要するに・したがって・また）、日本の子供たちは、太陽を描くと赤色を塗り、月には決まって黄色を塗る。⑷（だから・ところで・しかし）、ヨーロッパでは、太陽は黄色で、月は白色だという。

　このように、国や民族によって言葉と色彩との結びつきは異なっている。これは、それぞれの文化的背景の相違による。⑸（だが・では・それでも）、私たちはその事実に気づきにくい。⑹（なお・なぜなら・よって）実際に目に見えるものに対して、異なる文化において、違った色として認識するなどとは思いも及ばないからである。

【解答】

レッスン１

　⑴だが　⑵なぜなら　⑶つまり　⑷それで　⑸しかも

レッスン２

　⑴なっているので、→なっている。それで（だから・そのため）、

　⑵たつのに、→たつ。しかし（だが・けれども・それなのに）、

　⑶しましたが、→しました。一方（しかし・それに対して）、

　⑷ですが、→です。ただし、

　⑸もので、→ものです。例えば、

レッスン３

　⑴しかし　⑵例えば　⑶また　⑷しかし　⑸だが　⑹なぜなら